

第二十六回 帝國議會 衆議院 沖繩縣諸祿處分法案委員會議錄(速記)第三回

(一五〇)

明治四十三年二月十七日午後一時二十四分開議

出席委員左ノ如シ

福井

三郎君

古野 孫太郎君

加瀬

大藏書記官 田 昌君

禱逸君

八束

可海君

矢島

中君

坂本 元明君

八束

大藏書記官 田 昌君

山際

敬雄君

沖繩縣知事 日比 重明君

大藏書記官 田 昌君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大藏省國債局長 塚田達二郎君

古野 孫太郎君

加瀬

大藏書記官 田 昌君

出席政府委員左ノ如シ

沖繩縣知事 日比 重明君

古野 孫太郎君

加瀬

大藏書記官 田 昌君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

沖繩縣諸祿處分法案

古野 孫太郎君

大藏書記官 田 昌君

○委員長(福井三郎君) 前回ニ引續キ開會致シマス、質問ノアル方ハ此際質問ヲ願ヒマス——チヨット質問致シマスガ、御回シニナツタ沖繩縣諸祿處分法案參考書ノ二項目ニ五割卽チ年限ニ於テ一年八分七厘五毛ヲ茲ニ利率ニ於テ一分五厘ヲ内地金祿處分ノ率ニ増加シタリト云フノデスガ、此公債ハ五分利附デスナ、五分利以上ニハナラヌカラ、所得金ノ中ニ入テ居ルト云フ意味デスナ

○政府委員(塚田達二郎君) 今御質問ノ通リニ内地デハ士族ノ處分ニハ五分、六分、七分、一割ト云フ公債ヲ以テ致シタノアリマスガ、沖繩デハ公債ノ利息ニ付テハ差等ヲ設ケズシテ一律ニ五分ト云フコトニシタノデス、其ダメニ公債ノ支給額ハ沖繩ノ士族ニ對シテハ多クナツテ居リマスガ、年ニ利息ハ五分デアリマスカラ、其得ルトコロノ金高ハ同ジコトニナリマス

○委員長(福井三郎君) モウ一ツ御尋不致シマスガ、餘地ノ一間切ト云フノハドウ云

ノデス

○沖繩縣知事(日比重明君) 是ハ内地デ言フ村ト同様デアリマス

○沖繩縣知事(日比重明君) 一間切ト云フノハ村ト云フコトデスナ

○沖繩縣知事(日比重明君) サウデス、今ハ村ト言ヒマスガ、元ハ間切タト申シテ居リマシタ

○委員長(福井三郎君) 五石乃至十石デアタノデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 先ゾソレニ相當スルモノヲ與ヘマシタ

○委員長(福井三郎君) 内地ノ耕ト變

○沖繩縣知事(日比重明君) 四百石、三百石ト云フノハ草高ト云フノアチラデハ起石ト稱ヘテ居リマス

○沖繩縣知事(日比重明君) 百石ト言ツタナラバ、五斗俵二俵ヲ以テ一石トシテ居レバ、二百俵ト云フ譯アリマスガ、ソレハ別トシテ枠目ト云フモノニハ變リハアリマセヌカ

○大藏書記官(田昌君) 第二問ニ約十五万餘圓ノ現在ノ祿ヲ百六十三万餘圓ノ公債ニ換算シマシタ基礎ヲ御尋ニナリマシタガ、ソレハ大體ニ於キマシテ内地ノ稅ノ處分ノ先例ニ依リマシテ、金祿、公債證書發行條例ニ依レル處分ダケハソレニ依リマスノテ、ソレデ此第三條ヲ御覽ニナリマスト分リマスガ、第三條ノ年限ト言ヒマスモノハ内地ノ

○沖繩縣知事(日比重明君) 桧目ニハ變リハアリマセヌ
○委員長(福井三郎君) ツレデハ内地ノ一升ハ向フノ一升デスナ
○八束可海君 僧侶ノ飯米ト云フモノガ内地ノ恩給ノ性質ト同様アルト云フ御説明デゴザイマシタガ、既ニ恩給ト同一ノモノデアルトスレバ、此際家祿ヲ處分スルト同様ノ處分ヲ爲サズシテ、内地ノ恩給ヲ處分スル如クスルノガ法律上適當デアル、然ルニ之ヲ家祿ト同様ニ處分シマシタモノヲ御説明デゴザイマシタガ、唯之ヲ記録ニ留メテ明確ニ致シテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ十三万七千幾ラト云フモノデ今日マデヤツテ居リマシタモノヲ、此際處分スルニ付テ百六十三万六千餘圓ト云フモノニ計算シマシタ其標準ヲ伺ツテ置キタイ、又十三四年頃ニ今日ノ處分ヲベキ筈ニアツタモノガ故障ガアツタ爲ニ中止ヲシタノデアルガ、十三四年頃ニ何故ニ處分ヲ爲シ得ナカツタノアルカ、之ヲチヨット伺ヒマス

○委員長(福井三郎君) チヨット諸君ニ御詰リシテ置キマスガ、前回ニ續イテ知事並ニ視學官ガ出席セラレテ居ルノデスガ、参考トシテ之ヲ承ルコトニ御異議ハアリマセヌカ
○委員長(福井三郎君) 「異議ナシ」ト呼フ者アリ
○沖繩縣知事(日比重明君) 唯今ノ御尋ニ御答致シマスガ、第一ノ御尋ハ僧侶飯米デアリマスガ、是ハ前回ニ於キマシテ御答致シマシタ通リニ極ク簡單ニ申シマスレバ、内地ノ現行ノ恩給ニ均シイモノデアリマスガ、ツマリ沖繩ノ社寺、所謂寺ト云フモノハ唯今ノトコロデ俗ニ稱ヘテ居リマスガ、官寺、公寺、私寺、斯ウニツニ寺ガ大別サレテ居リマス、官寺ト稱ヘテ居リマスノハ官給ヲ受ケテ居ルカラデアル、公寺ト云フノハ是ハ村デ維持ダケハ村ニテ保ツテ居リマス、是が公寺デアリマス、私寺ト稱ヘルノハ隱居寺ト稱ヘテ居ツテヤハリ寺ノ一種デアル、其隱居寺ト云フモノニハ相當ノ僧侶飯米、即チ恩給見タヤウナ寺祿ヲ吳レテ居タモノデアリマシテ、名前ガ社祿トカ寺祿ト言ハズ、僧侶飯米ト稱ヘテ來タカラ事柄ハ一ツニ分レテ居リマスガ、性質ハヤハリ私寺ト云フ一ツノ寺ヲ作ツテ居ルノテアリマスカラ、ソレハ舊藩以來ノ慣例デアリマス、同ジク之ヲ祿ト舊藩時分カラ之ヲ支給シテ居ル、斯ウ云フコトニナリテ諸祿ノ中ニチラ包含サレテ居ツタノデアリマス、能ク之ヲ分析シテ見マスルト其性質ニ於テハ稍、恩給ニ均シキモノニ當ルヤウニナリマス、ケレドモ併シ現實ニ於テハヤハリ寺ト稱ヘツ、アルノデアルカラ、舊藩以來カラ今日マテ取扱ツテ居ルノデアルカラ、此中ニ包含シテ置ク、斯ウ云フコトニナル、ソレカラ此現行十二万何某ト云フ金祿ヲ來シテ居ル計算ノ御尋不ガアツタヤウデアリマスガ、是ハ参考トシテ御手回ニ廻シマシタ中ノ……

○大藏書記官(田昌君) 第二問ニ約十五万餘圓ノ現在ノ祿ヲ百六十三万餘圓ノ公債ニ換算シマシタ基礎ヲ御尋ニナリマシタガ、ソレハ大體ニ於キマシテ内地ノ稅ノ處分ノ先例ニ依リマシテ、金祿、公債證書發行條例ニ依レル處分ダケハソレニ依リマスノテ、ソレデ此第三條ヲ御覽ニナリマスト分リマスガ、第三條ノ年限ト言ヒマスモノハ内地ノ

金祿ノ例ニ依リマスレドモ、前回ニ政府委員カラ説明シマシタ通り、尙侯爵ノ恩典ノ五割ダケ、即チ一年半宛皆加ヘリマス、内地ニ於テ千圓以上ハ七年半アルモノヲ、此處デ千圓以上九年ニアリマスソレカラ終身祿ニ於キマシテ、内地ノ先例ニ於キマシテ總ニ半分——永世祿ノ先例ガアリマセヌデシタカラ、公平ニ保ツタメニ茲ニ三條ノ二項、二項ニ書イテアリマスヤウニ、永世祿ト終身祿トノ間ニ釣合ヲ保ツヤウニシマシタノデアリマス、ソレカラ先キニ政府委員カラ説明シマシタ通り、内地ニ於テ金祿證ヲ出シマシタトキニ五分、六分、一割ト出シマシタケレドモ、今日ハソレヲ出スコトハ出來ナイカラ現金ニ換算シテ現金ヲ餘計ニヤルコトニシマシタ、ソレカラ尙侯爵ハ利子ニ於テ五分ニアリマスカラ其半分ニ分五厘ヲ加ヘテ、同時ニ之ヲ現金ニ還元シテ、サウシテ此數字ヲ出シマシタノデアリマス、ソレカラ尙侯爵ノ恩典ノ五割ヲ加ヘテソレヲ現金ニ換算シテ出シマシタノト、二ツノタメニ斯ウ云フ數字が出タノデアリマス、ソレカラ尙申上ゲテ置キマス、第一問ニ付キマシテ僧侶飯米ノ御質問ガアリマシタケレドモ、僧侶飯米ハ内地ノ終身祿ト同ジヤウナモノデアリマスカラ、内地ニ於キマシテモ金祿、永世祿、終身祿、諸祿ハ公債ニ處分サレテ居リマスカラ、此場合同ニ處分スルノガ穩當デアラウト云ノノデヤハリ加ヘマシタ、ソレカラ第二問ニ付キマシテハ……

○沖繩縣知事(日比重明君) 尚侯爵ハ十二年ニ處分サレマシテ、十三年ニ其他ノ士族一般ニ處分サレトル云フ政府ノ方針ヲ内示シタコトモアリマシタガ、其當時ハ未ダ藩論が一致シナイ當時デアリマシテ、藩情モ穩ナラヌト云フ狀況デアリ、且又前々カラ申上ゲマス通り、此沖繩縣ノ諸祿ト云フモノハ全然性質ガ變ッテ、餘程入組ンダ性質ヲ含ンテ居ルノデアリマス、内地同様ニ處分スルコトハ容易ナ調ベテハ出來ナイ、又ナカナカ其性質ヲ極メルコトハ出來ナイト云フ一方ニハ困難モゴザイマスシ、且ツハ藩情甚ダ穩定ナラヌ時機デアルカラ暫ク是ハ舊慣ノ儘ノ方ガ宜イ、斯ウ云フ趣意カラ致シマシテウツチヤッテ今日ニ至タ、斯ウ云フ狀況ナシアリマス、ソレカラソレニ付テ申上ゲテ置キマスガ、前回私カラ御答ヲ致シマシタ中ニ少シ正誤ヲ致シテ置キタイコトガゴザイマスカラ厚ニ申上ゲテ置キマスガ、此受祿ノ數ヲ一百九十四人ト申上ゲマシタガ、是ハ一人デアリマス、ソレカラ受祿處分サレタ一例ガアリマスカラ、是ハ此參考書ノ中ニ申上ゲルト宜ウゴザイマシタガソイ落シマシタカラ、チヨット其大要ダケラ御話シテ置カウト思ヒマス、沖繩縣ノ現在ノ無祿者ノ數ハ一万五千九百三十人アルノデゴザイマス、即チ是ハ個數ヲゴザイマス、其中ニ有祿士族ト云フモノカ二百八十八人、此外ニ算檢ガ四人無籍士族ガ二万五千六百五十一人デアリマスガ、役俸ヲ受クル資格アルモノ九百四十四人ト云フノガアリマシテ、其處分ハ明治十五年ト十八年ニ處分濟ミナツタモノガアルノデアリマス、是ハ無祿デアッテ——是ハ妙ナ風ニナツテ居ツテソレハ前回モ申上ゲタト思ヒマスガ、所謂無祿デ何百日間奉公シタモノハ、所謂其出勤數ニ依リテ一年間役人ニナルコトが出來ル、斯ウ云フ彼所ハ制度ニナツテ居リマス、サウシテ平素ハ無祿テ勤メテ居ツテ日數が重ナルト一年有給ノ役人ニナルコトが出來ル、サウ云フモノガ廢藩置縣ノ當時九百四十四人アツタメニ、ソレニハ政府ハ一時給與金ヲ吳レテ處分濟ミニナツテ居リマス

○古野孫太郎君 條項ニ瓦ツテ質問致シマスガ、此第三條ノ第二項ニ「前項永世祿ニシテ云々ト書イテアルノハ、一代限リデモウシマヘルモノヲ指シタノデアリマス

○大藏書記官(田昌君) 是ハ總ニ含ムノデアリマスガ、三代以後ニ續クモノハモウーツノ條項ガアリマスノデ、先ツニ代グケノモノデアリマス
○古野孫太郎君 前ニ戻リマスが第二條ノ二項ノ三號ニ、上級ノ最少給與額ヲ超過スル金額ノ中前項ノ定率又ハ第三條第一項ノ年數異ナルタメ生ジタル金額トアツテ、此金額ヲ削減スルト云フコトデアル、此年數ト定率以外ニハ別ニナイヤウデアリマスガ、サウルト最少給與額ヲ超過スルノハ全部引イタガ宣カリサウニ思ハレル、所ガ其中是ダケ引ク、斯ウ書イタノハドウ云フ譯デアリマスカ
○大藏書記官(田昌君) 是ハ第二項ト三項ト御比較ヲ願ヒタイト思ヒマス、大體ノ趣意ハ此處分ト云フモノハ生活ノ程度ヲ計ズテ祿ノ少ナイモノホド割合澤山ノ公債ヲ與ヘルコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレテ此年限が此主意テ極ツテ居ルカラ適用上自ラ下ノモノガ餘計受ケル、下ノモノが上ノモノヨリ餘計受ケルト云フコトハ不都合デアリマス、下ノモノが上ノモノヲ超スコトハ出來ヌト云フコトガ第二項ニ極メテアルノデ、是ハ内地ノモノニモサウ云フ例ガアリマス、ソレテ第一項ニアル第三條第一項ハ永世祿、第四條第一項ハ非永世祿、第五條ハ社寺祿デ、第六條ハ即チ僧侶飯米ト是ハ皆其資格が一定シテ居リマス、然ルニ第二條第三項ハ遞減祿デアリマス、此遞減祿ハ内地ニ先例ガナク、ソレガ非常ニ混雜シテ居リマス、ソレハ二代終ルモノアリ、或ハ三代終ルモノアリ、或ハ八代終ヘルモノガアルト云フノデ、其遞減ノ有様が又一定シテ居ナインデアリマス、然ルニ此場合ニ第一項同様ニスレハ遞減ノ代數、又ハ遞減ノ金額が如何ニ違テ居テモソレ顧ミナイテ悉ク現代ノ祿高ニ切捨テルコトニナリマスガ、是ハ寧ロ遞減ニ關スルコトヲ、此標準ニ加ヘナイ方が祿ノ性質ガ違フノデアルカラ當然テハナイカト云フ議論ガアリ、其議論ガ尤モデアルト見マシタカラ祿ノ性質ニ依ツテ遞減代數又ハ金額が違フモノハ縱令下ノ者ガ上ノ者ヨリ多ク公債ヲ貰フモ差支ナイト云フコトニシマシタノデ、唯法律ニ定メタ年數又ハ利子歩合ノタメニ下ノ者ノ上ノ者フ超スハ不公平デアリマスカラ、此點ダケ第一項ト同ジ趣意ヲ以テ削減スルコトニシタノデアリマス
○加瀬禧逸君 私ハ此御話ニナリマシタ参考書ノコトニ付テチヨット御尋ネシタイガ、ズッテ末ノ方デアリマシテ沖繩縣金祿支出決算額及増減一覽表トアリマスガ、其備考トシテ説明サレタル部分ニ於キマシテ、十八年度ニ於テ前年度ヨリモ支出決算額ノ超過ヲ來タシタノハ、新ニ金祿ヲ賜ツタルモノガアルト云フコトデアルガ、途中カラ新ニ金祿ヲ賜ハルト云フハドウ云フコトニアリマシタカラソレハ金祿ヲ賜フモ差支ナイト云フコトニナリマスガ、之ニ依ルト交付スル證券ノ外ニ現金ガアリマスルガ、ソレハ公債ノ部分ヲ現金デヤツタノデアリマスカ、或ハサウデナク公債ト現金ト併セテ吳レルト云フ御方針デアリマスカ
○大藏書記官(田昌君) 十八年ノ處分ハ唯今チヨット書類ヲ持ツテ居リマセヌノデ、正確ノコトハ申上グラレマセヌガ、私ノ記憶テハ尙侯爵ノ子供ガアツテ分家シタ、若シは數年前ニ分家スレバ當時王子ニナツテ祿ヲ貰フベキ資格ガアツタ、所ガ唯分家ノ手續ガ遲レタタメニ祿ヲ貰ヘナインハ不穩當ト云フノデ、當時特ニ太政官ノ特別處分ニ依テ祿ヲヤルコトニ極ツテ居ツタヤウニ記憶シテ居リマスガ、多分ソレダラウト思ヒマス、ソレカラ賃貸現金ト云フ方ノ御尋ネハ第七條ニアル、即チ五十圓未満ノモノハ現金デ給ス

ルト云フコトデアリマス

○矢島中君 唯今御話ノ寺デスカ、官寺、公寺、私寺ト云フヤウニ分ツテ居リ、サウンテ僧侶ノ飯米ハ恩給ニ類似シタモノデアルト云フコトデアル、サウスルト此恩給ニ類似シタモノトスレバ、ヤハリ其僧侶ハ前ニ何ニカ相當當ノ祿米ノヤウナモノフ貰ツテ居ツタモノニヤルノデアリマスカ、又サウダク全ク前ニハ何ニモヤツテ置カナイノヲ此際ヤルト云フコトニナリマスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) ソレハ先刻モ略々其意味ヲ御答ヲシテ置イタ積リデスガ、此私寺ニ居リマス僧侶ハ既ニ官寺ト稱ヘル寺ノ住職ヲズツ勤メ來ツタモノデ、ソレガ年限通り勤メタ者ガ私寺ト云フ一ノ寺ヲ形造リテ、ソコニ住職シテ居リマス、ソレニ對シテヤリマスノデ……

○委員長(福井三郎君) 政府委員ニ御尋シマスガ、此百六十万圓ヲ四十三年度カラヤラウト云フノデ、此金額ハ無論ニ豫算ニ計上シテアリマセウガ、此豫算ニ付アハ何カ議論ガ出マシタカ

○政府委員(塚田達二郎君) 豫算ニ計上シテ居リマスノハ、端數現金トシテ支給セラルベキモノガ一万四千七百一圓ト云フモノガアリマス、ソレカラ百六十三万六千五百五十圓ト云フモノハ公債ヲ支給シナケレバナリマセヌカラ、ソレノ利子ガ八万千八百二十八圓、是タケノ金額ガ四十三年度ノ豫算ニ計上サレマシテ、既ニ衆議院ニ於テ通過致シテ居ルノデアリマス

○委員長(福井三郎君) ソレカラ此参考書ノシマヒニアルノハ、之ヲ貰フ人ノ名前ガ出テ居ルノデスカ

○政府委員(塚田達二郎君) 左様デス

○委員長(福井三郎君) ソレカラ一番シマヒニ此金祿處分ヲヤツテ後ニイロノく訴願ナドヲシタ者ガアルケレドモ、ソレハ今日調べタラナカツタト云フコトハ、先刻ノ御説明デ分ツタヤウデシタガ、ソレニ付テ斯ウ云ノ風ノ始末ニナツテ居ルカラ今度ハ算數上ノ處分ヲスルダケアルカラ、處分ノ後ニ訴願ナドハ起ラヌ故ニ行政訴訟ナドヲスル手續ヲ拵ヘテ置ク必要ハナイト云フコトデスガ、是ヤハリ一ノ問題グラウト思ヒマスガ、全然此處分ノ終タアトデ是ニ對シテ不服ヲ訴ヘル者ガナケレバ宜イガ、若シサウ云フ者ガアルト行政訴訟ノ途ヲ開イテ置カスト面倒ガ生ズルヤウナ憂ハアリマセヌカ

○政府委員(塚田達二郎君) 是ハ前ニモ申上ゲマシタ通り現在支給シテ居リマス祿高臺帳ガアリマシテ、其臺帳ヲ基礎トシテ支給スベキ公債ヲ算出スルノデアリマスカラ、アリマス通り、約二百三十七人ト云フモノガ祿ニ付テ請願ヲシテ居リマス、其請願ハ新ニ祿ヲ與ヘテ吳レト云フ方ノ請願デアリマシテ、ツマリ現在ノ状態ニ於テノ不服デアリマスカラ將來起ルベキ咎ハナイト思ヒマス、尤モ昨年ノ末マニ参考書ニモ書イテ其算出ノ算盤ガ間違ツタト云フコトナラ審査ヲシテ本人ノ請求ニ依ツテ審査シテ、誤謬ヲ訂正スルコトハ無論ナシ得ラル、ノデスカラ、事柄ニ付テノ争ト云ノモノハ臺帳ガ基礎

高臺帳ガアリマシテ、其臺帳ヲ基礎トシテ支給スベキ公債ヲ算出スルノデアリマスカラ、アリマス通り、約二百三十七人ト云フモノガ祿ニ付テ請願ヲシテ居リマス、其請願ハ新ニ祿ヲ與ヘテ吳レト云フ方ノ請願デアリマシテ、ツマリ現在ノ状態ニ於テノ不服デアリマスカラ將來起ルベキ咎ハナイト思ヒマス、尤モ昨年ノ末マニ参考書ニモ書イテアリマス通り、約二百三十七人ト云フモノガ祿ニ付テ請願ヲシテ居リマス、其請願ハ新ニ祿ヲ與ヘテ吳レト云フ方ノ請願デアリマシテ、ツマリ現在ノ状態ニ於テノ不服デアリマスカラ將來起ルベキ咎ハナイト思ヒマス、其以前ニハ新ニ祿ヲ與ヘ支給スベキ筋合ノモノデアリマセヌカラ、皆理由ヲ付シテ却下シテ了ツタノデアリマス、ソレデ此法律ノ適用スベキモノハ要スルニ現在支給シテ居ル祿高臺帳ヲ基礎トシタ

モノデスカラ、今年ニ貰ツテ居ル者ガ其高ニ付テ既ニ不服ガアリマセヌノデ、其不服ノナインモノヲ基礎トシテ算盤ヲ適用スルノデスカラ、更ニ不服ヲ生ズル理由ヲ認メタノデアリマス、前ニモ申シマシタ通り算盤上當該官廳が誤算シタノ云フコトナラ、是ハ行政訴訟ヲ致サヌデモ其誤謬ハ訂正シ得ベキモノデスカラ……

○八束可海君 唯今、御説明ヲ伺ヒマシテ要領ヲ得マシタガ此二万五千九百三十九人ト云フ無祿士族ハ唯今ノ御説明デハ或ル條件ヲ充タシタ以上ハ、一時若クハ相當ノ役祿ヲ受クベキ資格ノアルト云フヤウニ承知致シタノデスガ、ソレデ或ル條件ヲ充タシタ以上ハ相當ノ食祿ヲ得ラルベキ資格ヲ有シテ居ル、此人間ニ對シマシテハ廢藩後何等ノ救助ト申シマスカ支給ト申シマスカ、ツマリ救濟ノ途ハ何モ御取リニナラナカツタモノデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 此参考書ノ方ニアリマス一万何千人ト云フノハ資格ノ無イモノデ、資格ノアル者ハ七百四十四人デ、其他ノ者ハ資格ノナイモノデスカラ全ク無祿士族ニナツテ居リマス

○八束可海君 今日マテ何ニモヤツコトハアリマセヌカ

○沖繩縣知事(日比重明君) 少シモヤツコトハアリマセス

○加瀬禪逸君 チヨット一點ダケ確メテ置キタノデスガ、此金額ノ増加シタノハ多分尙侯爵ノ御子様が分家ナシタト云フ御答デアリマスガ、尙侯爵ノ御子様が分家ナサルニ付テ其御子様ニハ是マデ別段何モ具ヘナカツタノデスカ、ツマリ世嗣ト云フノハヤハリ家督相續人所謂嫡子トナルベキ人ニノ限テ外ノ兄弟ハ無祿トナツテ居ルノデスカ、ソレト今一ツハ今ノ法律ノ改正處分法案ノ第二條ニ祿高千圓以上千分ノ七十五、千圓未滿百圓以上千分ノ八十五、百圓未滿千分ノ九十五、ト云フヤウナ妙ナ標準ニナツテ居リマスガ其理由ヲ承ハリタノデス

○大藏書記官(田昌君) ソレハ御参考書ノ琉球藩祿制説明ノ一一ニモアリマス通り、分家シナイ中ハ何ニモ貰ヘナイノデアリマス、二番目モ何ニモ分家シタトキニ始メ通常ノデアリマス、ソレカラ第二條ノハソコニアル金祿公債證書發行條例ニアリマス如ク、千圓以上ハ五分利ノ公債ヲ遣シテ居リマス、千圓未滿ハ六分利、百圓未滿ハ七分利ノ公債ヲヤツテ居リマス、ソレニ一分五厘ヲ加ヘタノデアリマス

○委員長(福井三郎君) 是デ質問ハ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ、ソレデハ質問ハ終了致シマシタカラ討論ニ移リマス、ソコニ逐條審議ニ致シマセウ、如何デゴザイマス、逐條審議ニ致シタコロガ僅カデアリマスカラ、逐條審議ニシマセウ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(福井三郎君) ソレデハ逐條審議ニ致シマス、第一條ハ如何デスカ、修正デアリマスカラ將來起ルベキ咎ハナイト思ヒマス、尤モ昨年ノ末マニ参考書ニモ書イテアリマス通り、約二百三十七人ト云フモノガ祿ニ付テ請願ヲシテ居リマス、其請願ハ新ニ祿ヲ與ヘテ吳レト云フ方ノ請願デアリマシテ、ツマリ現在ノ状態ニ於テノ不服デアリマス、是ハ廢藩置縣後一二ノ例外ヲ除キ祿ヲ與ヘタモノガアリマスガ、其以前ニハ新ニ祿ヲ與ヘ支給スベキ筋合ノモノデアリマセヌカラ、皆理由ヲ付シテ却下シテ了ツタノデアリマス、ソレデ此法律ノ適用スベキモノハ要スルニ現在支給シテ居ル祿高臺帳ヲ基礎トシタ

ゴザイマセウカ、私へ其必要ヲ認メナイ、シマリ此一條、二條ノ中カラ五割ヲ削リタト云フ考、内地ノ金祿處分ヲサレタ標準ニ依ツテ積算致シタイ、ソレカラ一條、三條ハ五分利付ト闕連シテ居リマスガ、之ヲ私へ四分利ニ致シタイ過日政府委員ノ御説明ニ依リマスレバ百六十二萬圓ヨリハ四分利ニスレバ殖エルト云フコトデアルガ、此額ヲ殖ヤシテモ差支アリマセヌカラ四分利ト云フコトニ訂正ラシテ、一條、三條ノ積算ヲ致シタイ、其理由ハ先づ第一ニ……。

○委員長(福井三郎君) チヨット御待チ下サイ御發言中デスガ、其御議論ノ便利ニナルヤウニ二條、三條ヲ合セテ議題ニ供シテ置キマス

○八束可海君 五割ヲ増スト云フ恩典ノ必要ナイト申ス理由ハ、第一此沖繩縣ニ於ケル士族ハ極メテ坐食ノ徒が多い、既ニ坐食シテ居ル人間ニ對シテハ職業ヲ獎勵スル上カラ見テモ、非常ナ恩典ヲ與フルノ必要ヲ見出シマセヌ、ソレカラ尙侯爵ニ對シテ處分ヲサレタトキハ、尙侯爵ノ舊來ノ生活ヲ維持スル必要上相當ノ恩典ヲ與ヘナケレバナラヌ事情モアツラウ、其他一種ノ政策上カラヤハリサウニ云フ恩典ヲ與フルト云フ必要モゴザイマシタラウ、然ルニ今日ノ士族ニ對シテハ絶対ニ此兩方ノ理由ヲ見出スコトハ出來ナイ、ソマリ尙侯爵ニ對シマシテハ經濟上即チ品位ヲ維持セシムル上ニ相當ノ恩典ヲ與フル必要ガゴザイマシタガ、此士族ニ對シテハ斯ウニ云フ事情ト云フモノガ更ニゴザイマセヌ、餘計遣テモ遣リマセヌデモ坐食ノ徒ガ多イト云フコトハ確定シテ居ル事實ゴザイマスカラ、此際恩典ヲ與ヘテモ坐食ノ徒が減ズル譯ナハナイ、或ハ經濟ヲ維持スル上ニ効能ガアルトモ見出スコトガ出來ナイ、ソレ故ニ士族ニ對シテ五割ノ恩典ヲ與フルト云フコトハ、ソレハ今日ニ於テハ其必要ガナイト云フコトハ分ツテ居リマスカラ、五割ノ恩典ヲ與フル必要ガナイ、ソレカラ四分利ニ致シマシテ額面ヲ殖ヤシテヤルコトハ、是ハ内地ニ於ケル經濟狀態ノ關係カラ見マシテ、此際五朱ト云フ高イ利息ヲ添ヘテヤル必要ハナキ、此一ノ理由ニ依テ五割ノ恩典ヲヤラウト云フコト、ソレカラ五分利附ト云フ公債スルコトヲ修正シテ四分利ニシテ、ソレカラ五割ヲ減ズル、斯ウニ云フ風ニ修正致シタイ

○委員長(福井三郎君) サウスルト八束君ニ御尋ネ致シテ置キマスガ、字句ノ修正ハソレニ依テ自ラ生ジテ來マスガ、根本ノ修正デスナ

○八束可海君 サウデス

○古野孫太郎君 サウスルト五割ノ動キガ二通リニナル、利率ノ方デ一分五厘ヲ増シ、年限ニ於テ一年半ヲ増ス、利率ノ増シハ第二條ノ千分ノ七十五トアルノガ五十、其下ノ千分ノ八十五ガ千分ノ六十、其下ノ千分ノ九十五ガ千分ノ七十五デ宜イト云フ趣意ト見ナケレバナラヌデスナ、其通リノ意見デスナ

○八束可海君 サウデス

○古野孫太郎君 ソレカラ三條ノ方ハ一年半ザ、減ジテ來ル、就キマシテ政府委員ニ御尋ネ致シマスガ、サウニ云フ風ノ利率ノ勘定ニスレバ此公債ノ五分利ヲ四分利ト云フ風ニスレバ、ドンナ風ニ變テ來マスカ

○政府委員(塚田達二郎君) 此場合ニ政府ノ考ヲ述ベ置ク必要ガアリマス、唯今現在ノ士族ニ對シテ祿處分ヲスルニ尙侯爵ニ與ヘラレタ如キ恩典ヲ均霑セシムル必要ガナ、沖繩ノ士族ハ坐食ヲシテ居ルノアル、此公債ヲ附與シテモ坐食ヲスルト云フニ

過ギナノアリタルカラ結局同ジコトデアル、斯ウニ云フヤウナ意見デ縷々御述ベニナリマシタ、政府ノ見マストコロデハ尙侯爵ニ對シテハ内地ノ華族——其當時ノ大名ト比較スルト非常ナル恩典ガ與ヘラレテ居ルノデアリマスガ、先づ尙侯爵ハ別トシテモ其士族——尙侯爵ノ士族ニ對シテハ内地ニ於ケル士族ハ内地ノ大名ニ與ヘラレタコロノ支給ト同ジ割合ヲ取テ、ヤハリ處分ヲサレタノデアリマスカラ、沖繩ノ祿ヲ整理スルニ當ツテ其藩主ダケガ獨リ恩典ヲ與ヘラレテ藩士ニ與ヘル恩典ハ毫モ何等ノ必要ガナイト云フコトニナリマスルト、小ナル者ニ酷ニシテ大ナルモノニ厚クナシテ、沖繩縣ノ縣治ノ上ニ少ナカラザル支障ヲ將來見ルニアラウト思ヒマス、デ又其與ヘマスル恩典ノ額ト云フモノハ、尙侯爵ニ與ヘタトコロノ約半分デアリマシテ、決シテ政府ノ眼カラ見テ過大ナル恩典トハ見テ居ラヌノデアリマス、ノミナラズ又現在モ年々祿トシテ彼ハ支給ヲ受ケテ居リマシテ、其支給額ニ依ツテ生計ヲ維持シテ居リマス、然ルニ今茲デ内地同様ニ祿處分ヲシマスルト、公債ヲ貰ツテ其利子デヤハリ生計ヲシテ行クノデアリマスガ、現在貰ツテ居ル支給額ト公債ノ利子トシテ貰フ額トハ非常ナ懸隔ヲ生ジマスカラ、或ル場合ニハ家族五人アツ者ガ五人ノ生計ヲ營ムコトが出来ズシテ非常ナ生計上ニ恐慌ヲ來スヤウナ心配ガアリマス、成ルベクハ急激ナ變更ヲサセマイト云フコトヲ以テ方針トスルノデアリマス、此五歩ノ均露ヲサセマシテモ現在貰ツテ居ル額ヨリモ支給ガ餘程減リマス、減リマスノニ、又加フルニ更ニ均露ヲ削ルト極端ナ減リ方ニナリマスノテ、今マテ千圓貰ッタ者ガ二百圓カ三百圓シカ年々支給ヲ受ケナイト云フヤウナコトニナルノデ、事例が甚ダ——ソレデ此恩典卽チ五歩ノ恩典ヲ與ヘマシタコロデ、假リニ永世祿カラ見マスルト一番減ルノガ現在受ケマス額ヨリ五割五歩ヲ減ル、最モ少ナイモノガ先づ一割、一割カラ五割五分モ貰ウ高ガ年々減ル譯ニナリマスカラ實ハ此五歩トシタ、所ニ政府ハ少シ酷デハナイカト云フ感シヲ持ツテ居ル位アリマス、況ヤ此五歩ノ恩典ヲ與ヘズシテ全部削シテマフト云フ御論ニナリマスルト、少數ナル憐ムベキ士族ヲ鞭撻スルヤウナ意味合ニナリマスカラ、如何ニ少數ナル士族デモソレハ情トシテ忍ビナイトコロデアラコト云フ御説モゴザイマスガ、御尤ナコトデアリマシテ、四步ニ致シマシテモ政府ノ支給スル利子ト換算シテ行ケハ毫モ變更ハゴザイマセヌ、ゴザイメヌガ、公債ヲ償還スル年限ガツマリ延ヒマス、五歩ノ公債デ交付スルト二十一年デ償還が出來マスガ、四步ニスルト年限ガズト額ガ殖エルト同時ニ先キニナリマスカラ、是モ餘り得策デナカラウト思ヒマシテ、ソマリ法案ニハ五歩利付ノ公債デ支給スルコトニ致シマシタ、其點ハ士族ノ利害得失カラ考ヘルト大ナル影響ハゴザイマセヌ、之ハ政府トシテ其公債ヲ早ク減スコトノ出來ナイト云フ不便ガアリマスカラ、ソレ等ノ點ヲ參照シテ戴イテドウカ原案ニ御賛成ヲ願ヒタイモノアリマス

○八束可海君 私ハモウ少し附加ヘテ置キタ一元來尙侯爵ニ對シテ恩典ヲ與ヘルト云フコトニ付テハ、一應道理ノアルコトデアリマスカラ、是ハ既ニ過去ノ事實モアリマスカラ敢テ争ヒハ致シマセヌ、唯今ノ御説明ヲ伺テモ尙承服スルコトノ出來マセヌノハ二万餘人ノ無祿士族ト云フモノガアル、是等ニ今日マテ何等ノ救濟モ與ヘテ居ラヌノニ、此中ノ九百四十四人ハ或條件ヲ充タシタメニ、一年ナリ、一年ナリノ食祿ヲ得ルコトニナタ、サウシテ現在食祿ニアリ付タ者ガイロ／＼ノ方法ニ依ツテ幾許ノ給與ヲ受ケテ居

ル、即チ處分セラル、當時ニ不幸ニシテ或ル條件ヲ充タサナカッタ者ハ何等ノ給與ヲ受ケル、コトが出來ナイ、殊ニ尙侯爵竝ニ士族ニ對シテ相當ノ給與ヲ與ヘルト云フ雅量ガアルナラバ、何故ニ條件ヲ充タシ得ナカッタ不幸十一萬餘人ノ者ニ向テ救濟ヲシナカッタラウ、斯ウ云フ考ヘハ政府ノ頭ニ浮バナカッタノアラウカ、ソレデ此一万餘人ノ當時不幸ナ無祿士族ニ對シテ何等ノ涙ガナカッタ政府が今日此恩典ヲ與ヘルト云フコトハ公平ヲ失シテ居ル、ツマリ小ニ薄クシテ大ニ厚イト云フヤウナコトニナリマスガ、無祿士族ト云フコトハ、時ニ利アラザルガタメニ何等給與シナカッタガ、即チ其間ヲ比較スルト如何ニモ無祿士族トノ釣合ガ取レナイ、ソレデアルカラ無祿士族ト尙侯爵トノ間ソノ釣合ヲ取ルト云フ上カテ今日ノ五割ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトハ過當アルトスウ考ヘテ居ル、ソレカラ此四朱五朱ノ利率ニ付テハ強テ爭ヒマセヌガ、償還年限が長クナルカラ成ルベク短クシタイト云フ意味デ五歩利ニシタト云フ御説モアリマスガ、是ハ二十一年ヨリ十八年ニ償還スル方が得策アルト云フナラバ、六朱ニシテモト早ク年限ヲ縮メタラ宜クハナイカ、要スルニ今日ノ狀態カラ見テ適當ナ利息アルナラバ、多少年限が長クナッテモ其方が穩當デハナカラウカト感ズルノアリマス

○沖繩縣知事(日比重明君) 私ハ無祿士族ノ狀態ニ付テ……

○委員長(福井三郎君) ソレデハ政府委員トシテノ御出席アリマセヌカラ答辯ハ許シマセヌガ、参考トシテ伺マセウ

○沖繩縣知事(日比重明君) 無祿士族ノ狀態ニ付テ申述ベタイト思ヒマス、唯今八束君カラノ御話モアリマスガ、沖繩縣ニ士族ノ多イハ此無祿士族ノ中デ、先刻申シマシタ九百何某ト云フモノハ相當ノ處分ニナッテ居リマスガ、其外ノ無祿士族ト云フモノハ之ニ反對シテ何等ノ勤メヲ爲サヌトコロノモノデアリマス、沖繩縣ノ制度トシテ士族ノ次、三男ノ分モ悉ク士族ニナリマス、或ル藩ニ依ルト長男ダケハ士族デアルケレドモ、次、三男ハ皆平民ニ落チモノデアリマスガ、沖繩縣ノ制度トシテ次、三男デキ男ガアルダケハ士族ニナル、又其分家シタ士族ノ子供ガヤハリ士族ニナル、斯ウ云フ制度デアリマスカラ此數が非常三多イ、多イケレドモ藩ニ對シテ何等ノ勤ヲ爲サナイシタ者ノ如キ御考モ起リマセウガ、アスコノ無祿士族ト云フノハ全ク今申上ゲル通リノ事情デアリマスカラ、外ノ藩ニ於ケル士族ノ狀態トハ大分變ツテ居リマス、御参考マデニ申上ゲテ置キマス

○八束可海君 二万五千幾ラト云フ無祿士族ハ、凡テ或ル星ヲ取ルトカ云フコトガアレバ、一年限ノ給與ヲ受ケルト云フ資格ハナインデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) サウデス、ソレハ其中其星取ノ役ニナル方ヲ希望シタ者ハソレニナルノデス

○八束可海君 プレカラ星取ノ役ノ希望ノアル者ハナリ得ラレル資格ハアルノデスカ

○沖繩縣知事(日比重明君) サウデス、併シソレハ數ガアルモノデアリマスカラ、無制限ノ者ガ悉クソレニナレルト云フ譯ハアリマセヌ
○加瀬禧逸君 私ハ諸君ニ御諮詢致シタイ、實ハ唯今八束君ノ御議論ヲ拜聽致シマスレバ一應理由ノアルコト、モ感シマス、尙政府委員ノ御辯明モ亦一理アルト思フ、或

ハ私自己ノ考ヲ由シマスレバ八束君ノ或ル部分ハ贊成シ、政府委員ノ或ル部分モ亦探ラウト思テ居リマス、要スルニ内地ノ公債處分——金祿處分ト同一ニシロト云フコトモ少シ酷デハアルマイカ、沖繩ハ特別事情ガアルカラ多少其事情ヲ斟酌スル必要モアラウト思ヒマス、ツマリ割合ヲ幾分カ内地ノ者ヨリモ好ク授ケルト云フコトニ於テハ、私モ斯クシタイト思フ一人アル、併ナガラ五割ヲ漸々削減テ内地同様ニスルト云フコトハ如何カ

ト思ヒマス、隨分ノ割合ヲ内地ノ諸祿ノ整理ト比シテハ得セシメタイ、斯ウ云フ希望ヲ有ツテ居リマスカラ、更ニ此處デ一ツ今日直ニ即決サレルコトヲ御延バシ下サリマシテ、調査委員ト云フモノヲ置キマシテ年限若ハ金利等ニ付テ篤ト調査ヲシタラドウカト思ヒマス○委員長(福井三郎君) ドウデスカ加瀬君ノ御考ハ頗ル穩健ノ御考ノヤウデスガ、是ハ僅カ九條ノ短イ法案ト云ヒナガラ利害ノ係ルトコロハ——實ニ沖繩縣ノ是が最終ノ處分テ隨分ニ用井ル價ガアルダラウト思ヒマス、加瀬君ノ御意見ノヤウニシテ見タトコロガ、僅カ是ダケノ委員デ此中カラ特殊ノ調査委員ヲ持ヘルト云フコトモ其數ニモ困リマスカラ一時休憩ヲ致シマシテ、サウシテ全員委員デ能ク政府委員ヲ交セテ懇談スルト云フコトニシテハドウカト思ヒマス

(「異議ナシ」ト聲起ル)

○委員長(福井三郎君) 御異議ガナケレバサウ云フコトニ致シマス、暫時休憩致シマス、其休憩時間ヲ以テ協議時間ト致シマスカラ、其間ニ御協議ヲ願ヒマス

午後二時二十四分休憩

午後二時四十七分開會

○委員長(福井三郎君) ソレデハ協議會ハ濟マシタカラ、改メテ本會ヲ開キマス、二二條、三條ニ付テハ御異議ハアリマセヌカ

○八束可海君 此ニ一條、三條ヲ議セフル、ニ當リマシテ、今協議會ニ於テ日比重君ノ御話モアリマシタカラ、私ノ修正案ハ撤回シテ置キマス

○委員長(福井三郎君) ソレデハ修正案ハ撤回ニナリマシタ、二條、三條ハ御異議ハアリマセヌカ

(「是モ原案ノ通リ」ト呼フ者アリ)

○委員長(福井三郎君) 二條、三條ハ原案ノ通リニ決シマス、四條以下一括シテ議題ニ供シマス

(「是モ原案ノ通リ」ト呼フ者アリ)

○委員長(福井三郎君) サウスレバ四條以下ニ付テハ逐條御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(福井三郎君) ソレデハサウ決シマス、更ニ一括シテニ讀會ニシテ御協議ヲ致シマス——全部御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○委員長(福井三郎君) ソレデハ本案ハ全部政府案ノ通リ原案ヲ可決致シマス、是

マスレバ一應理由ノアルコト、モ感シマス、尙政府委員ノ御辯明モ亦一理アルト思フ、或

明治四十三年二月十七日印刷

明治四十三年二月十八日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局